

嬉野市未来技術地域実装協議会

- ・事業概要
- ・K P I 値の見直し
- ・PT会議の振り返り

令和4年7月26日

事業概要

駅前ゾーンと中心市街地を核に、オンライン・デジタル技術等を活用して嬉野市観光を再生する事業を展開

【取組む事業】

○嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり

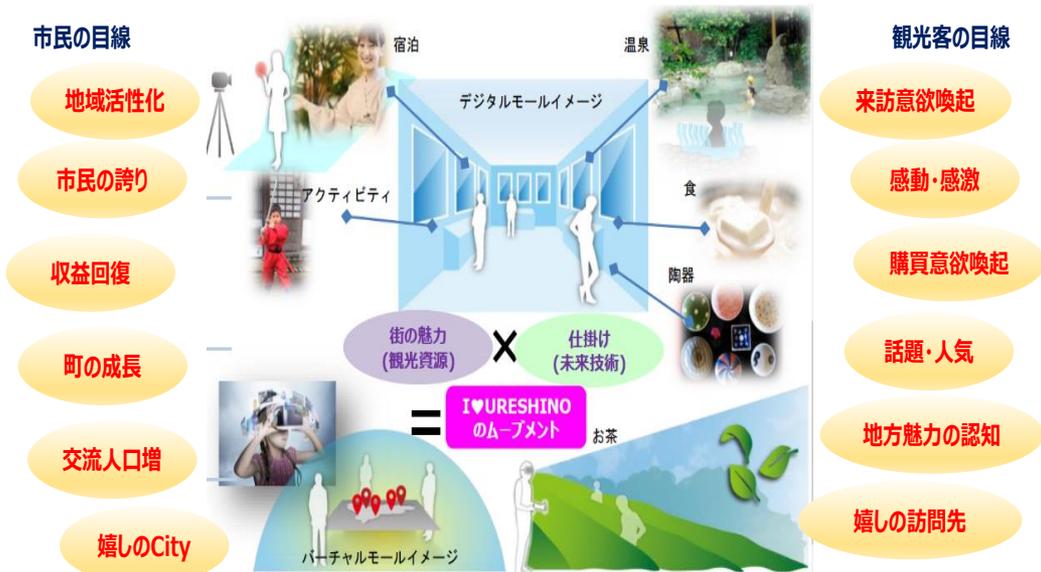
- デジタルモール・バーチャルモールの構築
- 観光情報のデジタルコンテンツ化
- 来訪者と生産者をオンラインで結ぶコミュニケーションツール構築
- オンライン観光ツアー、VRを活用した体験ツアー

○来訪者の移動を支えるモビリティサービス

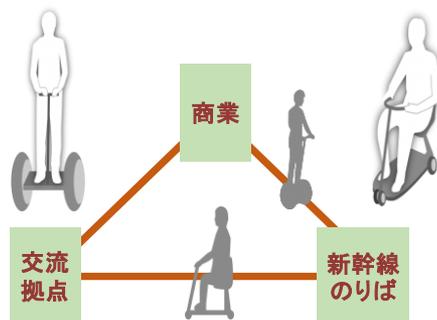
- 拠点内移動を支えるパーソナルモビリティ
- 手ぶら観光を支える自動運転サービス

○5G技術を活用した各種データ収集・提供

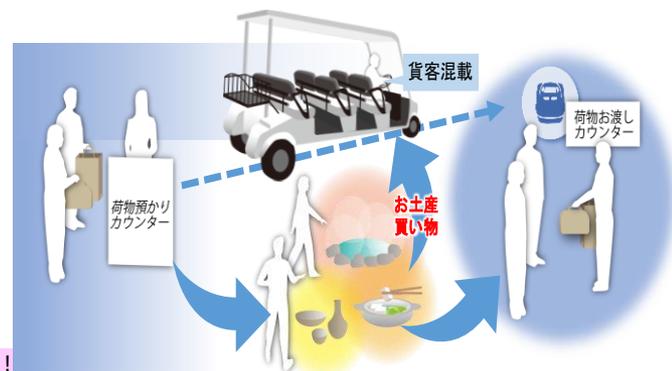
- データプラットフォームの構築



▲デジタルモール・バーチャルモールの構築



▲パーソナルモビリティ



▲手ぶら観光を支える自動運転サービス

※バリアフリー都市嬉野ならではのサービスとして期待！！

目指す将来像と地域課題

将来像

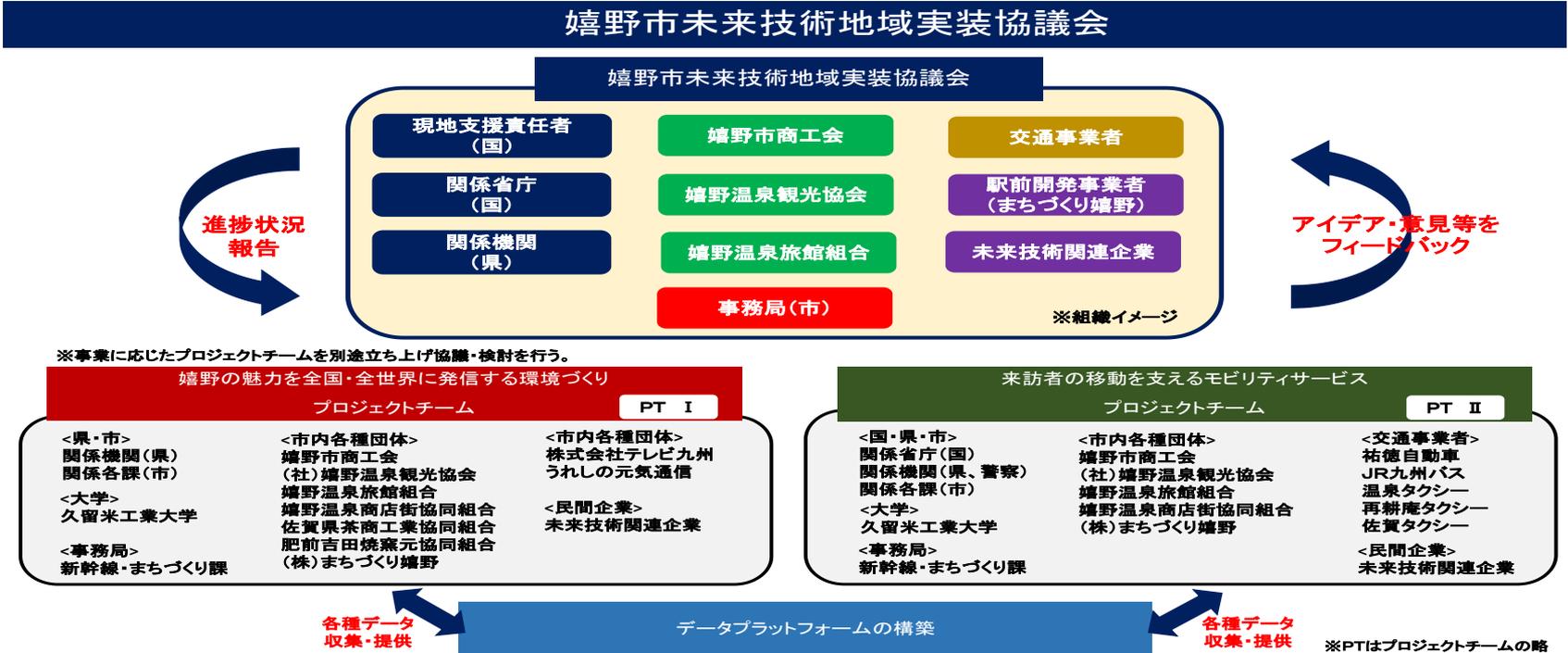
- 観光都市嬉野に誕生するあらたな交流拠点（新幹線駅と道の駅の同時開業）を核に、未来技術を適用・導入。新生活様式に対応した観光まちづくり、既存産業の再生・新産業の創出を図り、人口減少の抑制と交流人口の増加を目指す。

地域課題

- コロナ禍による観光客数の減少に伴う観光産業の低迷は、地域の主要産品である「お茶」「陶磁器」等の既存産業の生産性にも影響
- また、その影響は若者の地域離れに繋がり、地域人口の減少に波及するなど負のスパイラルが発生

事業体制

2つのプロジェクトチームと地域実装協議会によって推進



KPI値の見直し

▲KPIの見直し項目とその理由

K P I		見直し内容	
当初	見直し後	見直し項目	見直し理由
観光客数	観光客数	基準値	基準値を、コロナ禍の影響があった平成31年・令和元年実績に見直し
嬉野茶販売高	観光情報Web発信利用者数	KPI	今回事業の効果が明確となるよう事業に合わせたKPIに見直すとともに、合わせて月別効果が明らかとなるKPIに見直し
公共交通路線数	自動運転サービス利用者数	KPI	
居住人口増減数	18歳～29歳の定住意識	KPI	地域課題である「若者の地域離れ」を明確にするKPIに見直し

▲KPIの年次別目標値

KPI値	基準値	目標値				
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
観光客数（千人/年）	1, 691.4	1, 741.4	1, 791.4	1, 891.4	1, 991.4	2, 091.4
観光情報Web発信利用者数（件/月）	16,000	16,000	21,000	26,000	29,000	32,000
自動運転サービス利用者数（人/月）	0	0	500	1,000	1,200	1,400
18歳～29歳の定住意識（%）	62.0	62.0	62.0	64.0	66.0	68.0

嬉野市未来技術地域実装協議会 P T 1 会議

日時：2022年6月30日（木）14:00～15:30

場所：嬉野市文化センター 2 階

1. 開会
2. 事業概要の説明
3. 意見交換



主な意見（各自；敬称略）

- ・既存の観光協会の情報発信では、会員と非会員で情報量に差があるため、今後の取り組みの中で情報の発信力が強くなっていくことについて、配慮が必要と考えられる。（嬉野市観光協会 山口）
- ・新たなホテルの開業等が予定されている等、**お客様へ古い情報を与えないようにタイムリーな情報発信について留意が必要**。（嬉野温泉旅館組合 松本）
- ・デジタルモールについても説明してもらったものに**プラス要素として小規模でも良いので遊びの仕掛けが欲しい**。キャラクターもオリジナルキャラクターも作れると良いのではないかと思う。（嬉野温泉商店街協同組合 下村）
- ・**飲食店についてはスナックを取り入れるのも良い**。スナックは入りにくいというがあるので、360度カメラで店内や店員の様子を伝えることができればインパクトもある。遠方の方に、嬉野でどうやって遊んだらよいか見せることによって、旅館は満員なのに外に遊びに来ないという現状を解決できるとよい。（嬉野温泉商店街協同組合 下村）
- ・動画について、近隣のファミリー層向けとして、**高齢者もターゲットとして考えているのであれば、切り替えをゆっくりとするなどの配慮が必要**。高齢者でも見た時にイメージしやすいように、登場する人物については、子どもの映像や祖父母とお孫さん連れの風景が見せられると、こちらのイメージが伝わるのではないか。（テレビ九州 西川）
- ・360度カメラについては嬉野高校等にも参加してもらって、**若い年代の方に撮ってもらった隠れたスポット等をあげてもらい取り組みも考えられる**。高校を卒業して市外に出て行った方がその後に応援団となって市外からの支援にもつながるし、嬉野市在住の人たちの育成にもつながると思う。（テレビ九州 西川）
- ・駅前を含めて映像動画を作成しようと思っているので、是非連携していきたい。（まちづくり嬉野 古田）
- ・観光魅力として世界から注目されている日本であるが、インバウンドについては少しずつ受け入れが再開されているところである。嬉野のPR動画やデジタルモール嬉野については**インバウンド向けの改良も検討してほしい**。（国土交通省 田中）

嬉野市未来技術地域実装協議会 P T 2 会議

日時：2022年6月30日（火） 10:00～11:15

場所：嬉野市文化センター2階

1. 開会
2. 事業概要説明
3. 意見交換



主な意見（各自；敬称略）

- 本来、必要でないものを自動運転にするのはエンターテインメントにしかないのでは持続性が無いと考えている。**嬉野市を発展させるために必要なサービスは何か**ということを皆さんと議論できればと考えている。移動支援の観点のみでは難しい部分があり、**移動に対するプラスアルファの付加価値というものを合わせて考えることが必要**であり、P T 1 の議論や嬉野市のデータベースとの連携を将来的には考える必要がある。（久留米工業大学 東教授）
- **時速20km程度でしか走れないので後続車両が追い抜くことが想定**され、黄色いセンターラインははみ出すことができないので、こうした箇所は避けることが必要。**今後のルート検討では留意**してほしい。（鹿島警察署 川崎）
- 体験会に向けて事前に例えば、**嬉野市に導入する目的、ルート、停留所の場所等のイメージを持ったうえで試乗することで、事前のイメージとどう違ったかという議論**ができると良い。（嬉野温泉商店街協同組合 下村）
- 比較にあたっては、**コストの部分、特にランニングコストの情報**を入れてほしい。（嬉野温泉商店街協同組合 下村）
- **サービスモデルについても嬉野市ならこうするという例示があって叩いていった方が良い**。最初に決定事項ではなく例示して、ヒントを示してもらえると議論しやすい。旅館の意見もいろいろあると思う。（嬉野温泉商店街協同組合 下村）
- コストの観点で、**料金体系はどうするのかということが気になる**ところなので検討してほしい。（J R九州バス 宮脇）
- バスやタクシーと競合になってしまうので、**交通事業者にお願いして収益への配慮をするような仕組み**を考えてほしい。最終的には嬉野市としてランニングコストが**観光客に来てもらう成果に見合うのかが重要**。（嬉野温泉旅館組合 松本）
- **地元の人に認めてもらうには地元の理解が絶対必要**。試乗会をやるにあたって、是非、地元の人に乗ってもらって、意見をもらって導入を検討していくことが必要。（嬉野温泉観光協会 山口）
- 最終的には、民間なり新たな機関が運営していくと思うが、試乗会以降、**「街なかに行く・荷物を運ぶ嬉野ならではの移送システム」「省人化と交通業態との連携」「駅前の民間施設でPMを使って動く」という3つの課題から逆算して**どういうものが必要かという考え方が嬉野らしいと考える。試乗会後に議論したいと考えている。（まちづくり嬉野 古田）